

浜松湖西豊橋道路等の都市計画の素案に関する説明会

1 とき 令和7年11月22日(土) 午前10時から午前11時30分まで

2 ところ ライフポートとよはし コンサートホール

3 来場者 167名

4 出席者 豊橋市 都市計画部 都市計画課

 豊橋市 建設部 道路建設課

 愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課

 愛知県 建設局 道路建設課

 愛知県 東三河建設事務所 道路整備課

 国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 計画課

5 内容

1)挨拶

2)浜松湖西豊橋道路等における都市計画素案の説明について

3)質疑応答

【質疑応答要旨】

質問等要旨	回答要旨
雲谷町の田畠のある里山に住んでいるが、この道路ができることにより、騒音や田畠への影響を考えると、とても住み続けられない場所になってしまう。このような都市計画の素案を作成した時点で、計画区域周辺の自治会への説明はないのか。	これまでに説明会やアンケート調査等でご意見をいただきしており、これらの意見等を踏まえて、今回の都市計画素案としています。今後も公聴会や縦覧時の意見書等でご意見を伺う場を設けていきます。
トンネル直上に自宅があるが、トンネルの深さが知りたい。また、そうした住民に対して補償について個別説明はあるのか。	トンネルは、主に平地部で地表から40メートル程度地下を通過する予定です。トンネルの坑口(出入口)周辺は用地のご協力をお願いすることになりますが、地表から一定程度深いところを通過する場合は、区分地上権を設定することになるため移転等の必要はありません。今後事業実施段階において、補償についての個別の説明や説明会をさせていただくことになります。

自分の土地の一部が計画区域にかかっているため、事業開始や完了年次を教えてほしい。	現在は、都市計画手続の段階であり、事業開始や完了予定時期は未定です。順次意見をいただきながら進めていくため、通常の手続より時間を要するものでありますのでご理解をお願いします。
農作物の物流にも寄与する道路であり、本計画は田原市にもメリットがある。事業に早く着手してほしい。	ご意見として受け止めさせていただきます。
所有している農地の一部が計画区域にかかった場合の対応や日照障害への対応について教えてほしい。	一般的な対応として、計画区域にかかった部分のみ買収させていただきます。買収しない部分(残地)は不整形になる場合もありますので、農地の利用などについて今後個別に説明させていただくことになります。日照の影響は現在、環境影響評価で調査・予測をしています。今後事業実施段階において、補償についての個別の説明をさせていただくことになります。
豊橋IC(仮称)を国道1号へ接続しない理由を説明してほしい。	インターチェンジ箇所の選定にあたっては、接続道路への影響を含めて検討しています。国道1号や県道東三河環状線へ接続した際の周辺道路への影響、交差点の改良計画などを総合的に考えて、県道東三河環状線へ接続する計画としています。
この道路は有料と無料のどちらになるのか。	現在は、都市計画手続の段階であり、どちらになるかは未定です。

<p>二川地域は地下式で通過することで、岩屋緑地などの自然的景観や環境が保全される計画に安堵している。しかし、二川ルート(西側ルート)には問題点が多いため、今からでも計画を見直すべき。3つのルート案から現計画案を選定するにあたっての説明会が開かれていない。本計画により二川地域の渋滞問題の解消とはならない。本計画でトンネルを整備すると、二川地区の渋滞の解決策となりうる別ルートのトンネル整備が困難となる。梅田川周辺の軟弱地盤を通るルートのため、工事費や工期の増大が懸念される。早期実現のため道路の有料化が検討されているが、有料道路は使いづらい。梅田川周辺の軟弱地盤が地震の影響で液状化すれば、一般道へ降りられなくなる可能性があり、防災強化につながるとは考えにくい。ルート案のアンケート調査時には、リダンダンシー・冗長性の確保に関する説明はなかった。費用対効果や政策目標達成度について、もう一度23号ルート案と二川ルート(西側ルート)案を比較検討したうえで、将来の経済負担や利便性に優れたルートに見直してほしい。</p>	<p>ご意見として受け止めさせていただきます。</p>
<p>豊橋IC(仮称)周辺の自治会に対し個別の説明会を開催してほしい。</p>	<p>この説明会は、豊橋市のホームページなどでご案内しています。また今後も公聴会や縦覧時の意見書等でご意見を伺う場を設けていきます。都市計画の手続では、個別自治会への説明会を予定していませんが、豊橋市のホームページで掲載している説明会資料をご覧いただき、今後の手続においてご意見をいただければと考えています。</p>

<p>本計画のルートは公共施設などを避け、農地を通せばよいというように見受けられる。どのように計画としたのか教えてほしい。</p>	<p>ルート帯の中から、本素案の計画にしづりこむ過程で、公共施設などは災害拠点になることや、住民の方が集う施設であり、避けるべきコントロールポイントとして考慮し、計画しています。道路を急に曲げることはできないため、安全な道路の線形になるよう検討し、できるだけ早期に本道路が開通でき、使いやすい道路になるように計画していますのでご理解をお願いします。</p>
<p>二川地域は多くの渋滞箇所があるが、説明されたのは1か所だけ。説明を聞いても本道路が二川地域の渋滞緩和になるとは思えない。二川地域の渋滞対策について教えてほしい。</p>	<p>長距離を移動する大型車両が本道路に交通が転換することで、周辺道路全体の交通量が減ると考えています。ただし、地域差などがあり、全ての渋滞箇所の緩和に本道路が寄与するものではありません。現在渋滞しているものの、本道路の影響を受けない箇所は、関連都市計画変更に含んでいません。岩屋下や火打坂交差点などにおいても通勤等による渋滞があることは認識しており、豊橋市では県境付近の渋滞解消に向け、湖西市と渋滞対策を検討するとともに、自治会などと二川地域渋滞対策検討委員会を立ち上げ、地域の皆さんと一緒に渋滞対策について考えています。また、静岡県側には株式会社デンソー湖西製作所とトヨタバッテリー株式会社の北側に湖西IC(仮称)ができるため、二川地区から関東方面へ向かう車が湖西市側へ流れることも考えられます。</p>
<p>新幹線直下を通過するが、JRとは協議を実施しているか。</p>	<p>都市計画素案を作成するにあたり、鉄道事業者など関係機関と協議しています。</p>

前の質問で事業開始や完了予定時期は未定のことだったが、自分の土地をどうするか考える上で、概ねの事業開始時期は知りたい。	現在は、都市計画素案の段階であり、今後も都市計画手続は続きます。また、事業化後も、工事前に設計や用地取得などを進めるため、今の段階では回答が難しいです。都市計画の手続もまだ時間を要するのでご理解をお願いします。
大崎北JCT(仮称)周辺の盛土構造の区間が浸水することが懸念されるため、三河港IC(仮称)からの高架構造をさらに大崎北JCT(仮称)方面へ伸ばしてほしい。	津波などの浸水で影響を受けるのは梅田川の周辺であり、三河港IC(仮称)から大崎北 JCT(仮称)までの区間は浸水想定区域に含まれておりません。現在は都市計画の素案の段階であるため、今後地形測量などを行い、橋梁や盛土などの延長を適切に設計していきます。
梅田橋西交差点について、県道側は交差点改良することは分かったが、国道1号側も渋滞しているため事故対策を含め検討するよう働きかけをしてほしい。	ご意見として受け止めさせていただきます。

(説明会配布資料)

- ・浜松湖西豊橋道路(愛知県区間) 都市計画のあらまし